

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

10

Oct 2023  
No.343



## エンジョイライフ

## 楽しく、健康にスポーツを楽しむ

朝日支所管内

## 「朝日ゲートボール愛好会」のみなさん



私たち、まだグランドゴルフが行われていなかった頃、健康維持のため体を動かしてみようとゲートボールを始めました。現在メンバーは15人おり、10年以上ゲートボールを楽しんでいます。狭いコートでできるので足や体に負荷がかかりにくく、誰でも挑戦しやすいスポーツです。

ゲートボールは先読みしてプレーするので頭の体操になりますし、チーム戦なのでメンバーとの絆も芽生えます。練習は週3回行っており鶴岡市内などの大会に出場しています。スポーツなので試合に勝てた時は一番楽しさを感じますし、大会では3位以内に入ることが目標です。

今後も、楽しく健康に続けていきたいと思っています。会員も募集中ですので興味のある方、運動してみたい方などどなたでもいっしょにゲートボールを楽しみましょう！



集中してゲートを狙います…！



## 健康で元気に育ってね！

櫛引支所管内

さいとう しあら  
斎藤 幸愛ちゃん(6)  
たいら 泰愛くん(2)

幸愛ちゃんはコギャルになりたいわんぱくガール！弟思いの優しいお姉ちゃんです。

帽子がとても似合う泰愛くんは、働く車に興味深々。お菓子が大好きで、お姉ちゃんととても仲良しです。



## ファミリーファーム

## FAMILY FARM

## 家族の存在がやりがいに繋がる



新余目支所管内 佐藤 祐さん (59)

やまと 大翔くん (12) • 心愛さん (10)

私は、家業である農業を手伝いながら会社に勤め、30歳で専業農家として本格的に農業を始めました。きっかけは、平成5年に起きた大凶作でお米が買えない時代を過ごし、お米を作る仕事を担っていきたいという想いからでした。

農業は、実家の手伝いと庄内農業高校で基礎を学び、少しずつ応用を身に付け現在は水稻を中心に栽培しています。今年は、夏の猛暑で田んぼの水管理が難しく、地域の農家さんと相談しながら対応しましたが今まで一番大変でした。

地域との交流も積極的に図っており、小学校の稻作体験では田んぼを提供し、食農教育に繋げています。「めたか米」という低農薬の米作りを小学生らと栽培しました。

天候に左右される米作りは正解がなく難しい部分もありますが、家族で田植えをして稻刈りを迎え、実ったお米を食卓でいただく時はやりがいを感じます。今後は、規模拡大を視野に入れたスマート農業を取り入れていきたいです。

## 庄農生トライ

## SHONOSETRY

## 農業の魅力をたくさんの人人に届けたい

せいの みづき  
食品科学科3年 清野 瑞季さん



私は農業部加工班、通称庄農うどん部に所属しています。産・学・官の連携を図りはじめた「庄農うどん大作戦！」ですが、先輩達からの研究活動を引き継ぎ、5年目を迎える今年も大盛況で各方面からたくさんの反響をいただいています。その成果を8月に岩手県で開催された農業クラブ東北大会にて発表し優秀賞をいただくことができました。私は「庄農うどん大作戦！」の活動を通して人の繋がりに喜びを感じ、将来は農業と加工品の魅力をたくさんの人に届けられるような仕事に就きたいと考えています。そして、たくさんの人の笑顔を繋げられるようにしたいです。





第44回

# 月山ワインまつり

4年ぶりとなる「月山ワインまつり」が9月9日に東京第一ホテル鶴岡で開かれました。初の屋内開催となり、赤・白・ロゼのワインと「月山ぶどう果汁」のジュースを飲み放題で用意。全29銘柄の月山ワインを試飲できるコーナーには長蛇の列ができ、ワイン選びを楽しみながら存分に味わっていました。

**有料試飲コーナー人気ベスト3**

全29銘柄の中から、好きなワインを選んで飲み比べができる試飲コーナーは大好評！その中で人気ベスト3を発表します！

順位	ワイン名	特徴
1	ソレイユ・ルバン ルージュ・ルバン	庄内地区産のヤマソービニオングとカベルネ・ソーピニヨンを使用。やや酸味が強く、スッキリとした深みのある味わい。
2	ソレイユ・ルバン 甲州シユール・リー	鶴岡市櫛引地区で棚栽培された甲州を100%使用。フルーティーな香りとキレの良い酸味を持つ辛口ワイン。
3	ソレイユ・ルバン シャルドネアンウッド	庄内地区的シャルドネを100%使用。果実味が楽しめる辛口ワイン。



10月は、2023年産ぶどうの新酒が発売になりますので、ぜひ味わってみてください。

## ストック・花芽の分化度合を調査

園芸特産課は9月14日、庄内町の圃場でストックの生育調査を行った。この日は、同課の指導員と県庄内総合支庁農業技術普及課の担当職員が圃場4カ所を巡回し、草丈や展葉枚数、花芽の分化度合いを調査した。同指導員は「高温・乾燥の影響で平年より葉の枚数が少なく、開花も遅れているため薬剤散布による開花促進が重要」とアドバイスした。また、今後の栽培管理として、灌水や病害に対する防除を実施する他、換気を行いハウス内を涼しく保つことなどを生産者らへ呼び掛けっていく。JAでは今後、定期的に圃場調査を行いながら、生育ステージに合わせた指導を行っていく。



## 柿しぐれ・脱渋のポイントを確認

庄内柿生産組織連絡協議会は9月5日、櫛引支所で樹上脱渋柿「柿しぐれ」の栽培講習会を開いた。参加した生産者約10人が、果頂部のくぼみや傷などがないきれいな果実に固形アルコール剤を入れたポリ袋を被せるなどの樹上脱渋作業のポイントを学んだ。園芸特産指導員は、果実への袋かけは果頂部の着色を見ながら行う他、袋かけから48時間経過後にポリ袋の底部を全面開封し固形アルコール剤を回収するよう呼び掛けた。今年産の生育は、肥大状況が良好で大玉傾向に推移している。同協議会は11月の収穫に向けて、一果重220g以上、糖度14度以上を目標に病害虫防除などを徹底していく。



## 夏の高温被害を確認し早期対応を図る

営農経済担当委員会は9月6日、藤島・羽黒・櫛引地域で生育状況を確認する作況巡回を行った。同委員、職員ら約30人が参加し、大豆・庄内柿・キュウリ圃場と今年度に稼働する庄内柿脱渋・青果物予冷施設を視察。作況巡回では、夏場の高温により大豆圃場の一部で莢の黄化や庄内柿の日焼け果の発生が見受けられ、仕上げ摘果や防除など圃場管理の徹底を呼び掛けている。また、10月上旬には庄内柿の目揃え会を開き規格・品質を統一した。脱渋・予冷施設は、前年度12月から着工し9月15日に完成。約20tの庄内柿が脱渋できる他、脱渋期間外は予冷庫とし作業の効率化と費用削減を図っていく。



## 抑制栽培キュウリ・集荷続々

櫛引地域にある集出荷施設では、秋から初冬にかけて収穫できる抑制栽培キュウリの出荷が盛んに行われている。出荷基準を満たした形状・品質のキュウリが続々と集荷され高品質出荷に繋げている。園芸特産指導員によると、今年産は、夏場の高温の影響により一部の圃場で芯焼けやアザミウマ発生の他、初秋にはアオムシ類の発生が見受けられ着果量は少なめに推移し、生産者らは防除作業に努めながら出荷量の確保に努めている。同地域では現在、約90tのキュウリ団地で収穫が随時行われ、生産者18人が約3haで栽培・出荷している。JAは今後、11月上旬まで地場や関東市場へ出荷していく予定だ。



## 今年産米初検査がスタート

J A管内では「つや姫」などの今年産米の検査格付けが行われ、櫛引地域の山添倉庫では9月14日に初検査を実施した。同日「はえぬき」「ひとめぼれ」「雪若丸」計6363袋（1袋30kg）を検査し、1等米は約4割と品質低下が見受けられた。試料の整粒や水分、形質など項目に沿って検査した結果、夏場の高温の影響で白未熟粒が散見されたが、同地域の新品種である「雪若丸」は1等米の基準を満たし高品質に仕上がっている。出穂は平年より2日程度早く、平坦部では7月中に出穂期を迎えた圃場が多かった。新米は、産直んめ農マルシェなどで販売され関東や関西の主要取引先へ9月下旬に出荷した。



## 抜穂祭・自然の恵みと恩恵に感謝

J Aは9月22日、羽黒地域にある出羽三山神社で「抜穂祭」を行った。この日は、神社関係者とJA役職員ら約10人が参列。同神社の三神合祭殿で神事を執り行った後、5月に開催した御田植祭で同地域の大鳥居脇にある献饌田（17.2ha）に植え付けし、実った「つや姫」を海藤喜久男組合長が代表して鎌で刈り取った。この祭事は、稻作農家を取り巻く状況が年々厳しさを増す昨今、自然の恵みと神の恩恵に感謝し、改めて清新な気持ちで米づくりに取り組もうとJAが企画し今年で17回目となる。収穫された米は、同神社の新嘗祭や年間の祭典・御神事などで大神様へ奉納される。



## 新施設竣工し生産振興に励む

営農販売部は9月26日、羽黒地域の庄内柿中部選果場に新設された庄内柿脱渋・青果物予冷施設完成に伴う竣工式を執り行った。この日は、全農山形と施工会社の担当者、海藤喜久男組合長らJA役職員約20人が神事に出席し、荒川八幡神社の宮司が斎主を務め竣工への感謝と農作物の安定生産を祈った。同施設は、脱渋施設の老朽化を懸念した増設の他、青果物集荷拠点とし、脱渋期間外は青果物予冷施設とすることで作業の効率化と費用削減を図ることを目的としている。海藤組合長は「看板作物である庄内柿の脱渋施設と併せて予冷施設も設置できたことで、より一層生産振興に励んでいきたい」と話した。



農業経営  
を支える

# 収入保険のご紹介

全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力だけでは避けられない収入減少を補償します。

## 加入できる方

青色申告を行っている農業者(個人・法人)が対象です。

加入申請年に青色申告(簡易な方式を含む)を開始すれば加入できます。ただし、青色申告実績が4年未満の場合は、補償限度額を一定程度引き下げて、申告実績が4年以上になるまで段階的に引き上げていくことになります。

## 対象となる収入

農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体です。

※簡易な加工品(精米、もち等)は含まれます。  
※一部の補助金(畑作物の直接支払交付金等の数量払)は含まれます。  
※肉用牛、肉用子牛、豚肉、鶏卵は、マルキン等の対象のため除きます。

## 対象となる要因



## 収入保険に加入していく助かった!

令和4年補償 保険金等支払総額  
**13億850万円**



令和4年は自然災害やコロナ禍による価格低下など、さまざまな被害が発生しました。  
加入者の皆さまよりいただいた感謝の声をご紹介します。

昨夏の長雨、日照不足の影響でコメ、枝豆で生育不良が見られ品質の低下等により収量の確保が難しく、枝豆は市場価格が暴落して売り上げが減収ましたが、保険金を受け取り大変助かりました。  
〔羽黒町40代男性〕

ねぎに軟腐病が広がり、収量が激減しました。さらに肥料農薬代の高騰、給料の支払いなど不安の毎日でしたが、無利子のつなぎ融資でなんとか乗り切りました。  
〔新庄市60代男性〕

## 加入・支払等のスケジュール(個人の場合)

### 令和5年

#### 加入申請期間(6月~12月)

##### 加入申請の期限

**令和5年12月末**

- 前年までの青色申告決算書の提出
- 保険期間の営農計画の提出

### 令和6年

#### 保険期間(1月~12月)

##### 保険料等の納付期限

- 一括払い **令和5年12月末**
- 分割払い **令和6年8月末まで**
- 令和5年の青色申告決算書の提出
- 営農計画変更の連絡
- 事故発生の連絡・つなぎ融資の申込み

### 令和7年

#### 保険期間の確定申告(~3月)

##### 保険金等の請求・支払い (3月~6月)

- 令和6年の青色申告決算書の提出
- 保険金等の請求

お問い合わせ 電話・FAX・メール・WEBでお気軽にご連絡ください。

山形県農業共済組合  安心のネットワーク **NOSAI** 山形

庄内支所収入保険課 TEL.0234-91-1553 FAX.0234-91-1560 mail : syuho\_3@ynosai.or.jp



ご相談は  
こちらのQRコードに  
アクセス

## 醸造用ブドウ・目揃え会で品質徹底を

J A管内で育苗ハウスを活用しワイン用ブドウ「メロー」「シャルドネ」を栽培している生産者らは9月6日、羽黒地域で目揃え会を開いた。参加した生産者約10人は、糖度は18度以上を基準とし、しづみ果や腐敗果、未熟果などは取り除く他、収穫後はブドウが高温にならないよう留意することを確認した。

収穫したブドウは月山ワイン山ぶどう研究所へ集荷され特産品である月山ワインへと加工される。



## 豊水・高品質出荷に向け意識統一

櫛引支所なし部会は9月10日、櫛引地域の選果場で和梨「豊水」の目揃え会を開いた。参加した部会員約20人が、規格や収穫時の留意点を確認し高品質出荷に向けて意識を統一した。園芸特産指導員は、糖度は12度以上を原則とし、果実の色付きをよく確認し適期で収穫する他、収穫初期はすぐりもぎを行うことを呼び掛けた。

5kg箱3000ケースを目標に主に地元市場へ9月下旬まで出荷した。



## イチゴ・栽培管理徹底し品質維持に努める

営農販売部は9月8日、鶴岡市で秋採りイチゴのハウス圃場巡回を行った。契約先である株ホーブの担当者と県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者、園芸特産指導員がハウス4カ所を巡回した。今年産は、夏場の高温により一部の圃場で葉の枯れが見受けられたが、着果量は概ね順調。

株ホーブの担当者は「害虫は薬剤で防除を行う他、枯れ葉はこまめに摘み取ること」とアドバイスした。



## 椎茸・部会一丸となり安定生産へ

椎茸部会は9月8日、三川町で第29回通常総会を開いた。参加した部会員約20人は、前年産の生産販売と事業報告、今年産の事業計画を確認した。前年産は、種菌メーカーの現地指導や講習会で菌種の特性と栽培管理などの認識を深めた他、出荷前の検品体制や出荷調整の強化などを図った。

今年産は、生産者の連携を強化し市場・産直販売やニーズに対応した有利販売を展開していく。



## 試合白熱! グラウンド・ゴルフ大会

年金受給者友の会は9月20日、三川町で第24回グラウンド・ゴルフ大会を開いた。予選を勝ち抜いた会員約170人が5~6人1組のチームに分かれ、2コース16ホールで練習の成果を競い合った。ホールインワンなど好プレーに歓声を上げながら白熱した試合が繰り広げられ、優勝には打数33打で立川地区的菊池正志さんが輝いた。

閉会式では上位入賞者へ佐藤茂春常務から賞品が贈られた。



## カウンターセールスコンテスト・朝日支所の百瀬千夏さんが優勝

J Aは9月12日、本所でカウンターセールスコンテストを開き、朝日支所の百瀬千夏さんが優勝した。佐藤茂春常務と山口宏共済部長、JA共済連山形庄内地区担当の佐藤洋介部長が審査し、各支所のスマイルセンター6人が他社の損害保険から同共済への切り替えを提案する対応技法を競った。

J Aは今後、研修会などでスキルアップを図りながら、推進目標達成に向け取り組んでいく。



## 令和6年度職員募集

令和6年度採用の職員を以下の通り募集いたします。

### 1. 大学・短大・専門・高校卒（新卒・既卒者）

①募集職種 一般職 ②採用予定人員 5名程度

③応募資格 ●大学・短大・専門卒業者、高校既卒者（大学、短大、専門学校は令和6年3月卒業予定者含む）  
●平成元年4月2日以降生まれた方 ●自宅から通勤可能な方

### 2. 高等学校卒（新規学卒者）

①募集職種 一般職 ②採用予定人員 5名

③応募資格 ●令和6年3月高等学校新規学卒者 ●自宅より通勤可能な方

### 3. 第1次試験日時

令和5年12月8日（金）午前8時45分受付

### 4. 採用試験会場

①第1次試験 庄内たがわ農業協同組合 本所 ②第2次試験 庄内たがわ農業協同組合 本所

### 5. その他

応募手続き等、詳しくはホームページにてご確認ください。その他不明な点については、経営企画部人事教育課へお問い合わせ下さい。

TEL 0235-64-4922



## 理事会だより

議案報告  
令和5年9月28日木

- ・組合員の異動について
- ・令和5年度ストレスチェック実施結果について
- ・余裕金運用状況報告について
- ・第2四半期の余裕金運用方針について
- ・川柳大会の実施について
- ・時価算定要領の改正について
- ・時価算定要領について
- ・JA庄内たがわ「つや姫コンテスト2023」開催について
- ・令和5年産庄内柿取扱内容について
- ・不祥事再発防止策（兼整備計画）の進捗状況について
- ・その他

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。  
① テーマの答え（本紙やホームページ等で掲載致します）  
② 住所・氏名・年齢・電話番号  
③ 広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字備中下3-1

E-mail:kouhou@ja-shonai.or.jp

【しおり】令和5年10月31日（火）当日消印有効 ※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

「心の声」11月号投稿のテーマ

「あなたの秋の楽しみ方を教えてください。」

今月のプレゼント

ソレイユ・ルパン  
ルージュ 2名様



**庄内柿フェア**

庄内柿の箱売り、袋売りをご用意しております。  
当店でお買い上げの庄内柿を発送する場合、  
送料が全国一律900円/約5kgまで  
(※沖縄・一部離島を除く)

**北海道**

鶴岡卸売市場から  
納品された  
冷凍海産物や  
松尾のジンギスカン、  
北海道ラーメンや  
冷凍スイーツなどを  
ご用意しております。

**お米の日**

JAカードでお買い上げの方は  
**対象商品 10%割引!**

**果実フェア**

地元産ラ・フランス、庄内柿、  
りんごなどをご用意しております。

※写真・イラストはイメージです。イベント内容は予告なく変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

JJAカードでお買い上げの方は  
**請求時に5%割引!**

10月から3月までの営業時間9:00～17:30(定休日:1/1～3,1～3月の第2・第4水曜日)  
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。  
変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。

〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778

FAX0235-26-7880 E-mail:sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています！



お得な年間予約受付中！

- ◎ 誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無償となります！
- ◎ セレモニー互助会もご利用できます。

【お知らせ】年間購読されている方へ

10月31日（火）までに購読中止の連絡がない場合、  
引き続き年間購読とさせていただきます。

お申込・お問合せ 総務部総務課

TEL0235-64-4921 FAX0235-64-5742

毎日書ける、楽しく書ける、記録と記憶に残る一冊!  
**3年連続日記**

3年間の記録が一目でわかる!!



家事・生活に役立つ  
わが家の財産台帳つき  
**3年連続日記**

定価 4,400円

※税込

10月1日発売

発行元 鈴木印刷株式会社 出版部

## 新しい「団体信用生命共済」の取り扱いを開始します！

2023年10月より当JAでは、JA住宅ローンをご利用いただくお客様のニーズに対応すべく、パワーアップした新しい団体信用生命共済（以下団信）の取り扱いを始めます。

現在取り扱いしております、「一般団信」、「三大疾病保障特約付団信」、「長期継続入院特約付団信」に加え、「連生一般団信」、「連生三大疾病保障特約付団信」を発売いたします。

この「連生一般団信」とは、連帯債務による借入について、万一、債務者様のうち**1名が死亡または所定の後遺障害の状態になられた場合**について、**住宅ローン残高の全額**が保険金として支払われるものです。

「連生三大疾病保障特約付団信」とは、連帯債務による借入について、万一、債務者様のうち**1名が死亡・後遺障害保障に加え、がん・急性心筋梗塞・脳卒中により所定の状態と診断された場合**について、**住宅ローン残高の全額**が保険金として支払われるものです。

新しく住宅を建てようかと考えている方はぜひ、当JAの「住宅ローン」をご利用ください。

【お問い合わせ先】 JA庄内たがわ信用部融資課 住宅ローン担当（橋、丸山） ☎0235-64-4926  
または各支所信用課までお気軽にお電話ください。

# 「心の声」

あなたの今年の夏の思い出は？

五十嵐 優花さん  
保育士の仕事を頑張っています。休日は、サウナに行ったり料理教室に行ったりして充実しています。冬になつたらスノーボードを楽しみたいです。

撮影場所＝あつみ温泉 たちばなや

今年の夏は例年になく異常気象で毎日のように熱中症アラートが発令され、そんな中でも店に立ち寄ってくださり、たくさんのお会いが生まれ、本当に感謝の一言です。忘れられない最高の思い出です。 Y・Sさん【柳引】

赤川花火大会を会場で見れたこと。迫力がすごかった。 N・Sさん【鶴岡市】

今年の夏の思い出は「ただただ暑かったあ！！」です。体温を超える気温の猛暑は初めての経験でした。わが家のエアコンもフル稼働してくれました。外に出る気にもなれず、クーラーの下でのんびりしていました。 K・Yさん【朝日】

7月に「アナ林散策と乳頭温泉郷の旅」を行った。新庄から陸羽東線で古川へ、そして仙台に移動し秋田新幹線内で友達と合流。田沢湖で下車しバスで乳頭温泉郷へ。帰路は秋田から2時間、特急いなほ。温泉は最高、美味しい食事にも大満足。また行きたいなあ～ E・Hさん【新余目】

今年の夏は朝から暑かつたので、クーラーの効いた居間で一日中過ごしていました。そんな訳で外の景色をそんなに見ていないです。 K・Tさん【尾花沢市】

とにかく暑い日が続きました。我が家にはエアコンがありません。日中、家の中にはいるときは、午前中は西、昼過ぎは北、夕刻は東の間で過ごしました。 M・Tさん【新潟県】

今年の夏は暑さが厳しそうでした。残暑も厳しい印象に残った夏でした。残暑も厳しく早く30度を下回つてくれと願っていました。 S・Mさん【新潟県】

軽井沢旅行に行けるかどうかは台風上陸が心配でピンチだったけど、無事に何とか行けるようになって良かったです。 K・Tさん【埼玉県】



aito  
Oct 2023  
No.343

発行：庄内たがわ農業開拓組合  
〒999-7611 山形県朝日町上野字橋中下3-1  
TEL 0235-64-3000 電子メール tagawa@ju-shonan.or.jp  
印刷：庄内農業開拓組合連合会

